

平成28年度事業報告

概要

平成28年度事業は、昨年度に引き続き川崎市、横浜市、相模原市、神奈川県リハビリセンターの4か所において脊髄損傷者等及びそのご家族を対象にピアサポート相談会を実施いたしました。

平成20年度の事業計画で「神奈川県リハビリセンターにおけるピアサポートモデル事業として、グループ相談会やロールモデルの派遣、個別訪問のピアサポート活動などを、神奈川県支部のピアマネージャーや支部役員によって毎月一回定期的実施して行く」として、神奈川県リハビリセンター側と何度も話し合いを持ちましたが、結局実現には至らなかった経緯があり、まずは県内4か所から広く相談を受け付けることになり、全脊連神奈川県支部の役割の一つであるピアサポート事業が、広く県内の一般の脊髄損傷者を対象に本格的に始まった5年目の取り組みとなりました。

もう一つの大きな支部の事業として、共同募金からの助成金事業として、医療セミナー等の様々なセミナーを開催しておりますが、28年度は脊髄損傷者の食生活を取り上げました。

脊髄損傷者は立てない・歩けない人がほとんどで、それ故下半身に負荷がかけれないため骨がもろく骨折しやすい。同時に日常の大半を車いすで過ごすために褥瘡を作りやすく、そして、できたら治りづらいという特徴があります。しかし、毎日の食生活を見直すことにより骨折や褥瘡を防げたらと考え、専門家の先生をお呼びし「脊髄損傷者の食生活セミナー」を開催しましたが、大変有意義なセミナーになりました。

また、その他支部が主催する催事や各協会が実施する催事は、会員やそのご家族にも気軽に参加できるようにご案内して順調におこなわれました。

1、～あなたの力になれます～

脊髄損傷者のための相談会の実施

～あなたの力になれます～『脊髄損傷者のための相談会』の開催は、永年に亘り脊髄損傷という重い障害と様々な困難を乗り越えてきた貴重な知識と豊富な経験を持つ当事者が、同じ脊髄損傷者等の精神的な支援と社会生活に必要なあらゆる情報を提供する相談会を実施し、脊髄損傷者が再び誇りある社会の一員として活躍できるよう支援して行くことを目的に事業を実施しました。

主催 全国脊髄損傷者連合会神奈川県支部
協賛 一般社団法人 日本損害保険協会
公益社団法人 全国脊髄損傷者連合会

(1) 相談会開催期日及び会場

- 第1回 かながわ県民サポートセンター
平成28年 9月17日(土) 13時~16時
- 第2回 相模原市けやき会館3階 第2セミナールーム
平成28年10月16日(日) 13時~15時
- 第3回 川崎市中原市民会館第2会議室
平成28年11月 6日(日) 13時30分~16時30分
- 第4回 神奈川県総合リハビリテーションセンター4階会議室
平成29年 1月21日(土) 13時~15時

(2) 個別相談者 合計3名

- 第1回 相談者なし
- 第2回1名 Aさん(男) 26歳 脊髄損傷と精神
- 第3回1名 Bさん(男) 45歳 脊髄損傷
- 第4回1名 Cさん(男) 14歳 頸髄損傷

(3) 支部出席者 延べ32名うちボランティア12名

- 第1回5名 妻屋、山崎、赤城、ボラ2名
- 第2回8名 山崎、澤藤、赤城、町田、宝子山、相馬、ボラ2名
- 第3回6名 澤藤、山崎、田辺、ボラ3名
- 第4回13名 山崎、妻屋、赤城、澤藤、田辺、宝子山、相馬、小暮、ボラ5名

(4) 個別相談会の内容

個別相談会を相模原市、川崎市、横浜市、神奈川リハセンター(厚木市)の4か所で実施し、男性3名、合計3組の相談を受けた。又、相談を受ける支部役員は、延べ20名でボランティア12名であった。

相談の内容はAさん(男) 脊髄損傷と精神の人は、本人が来たのではなく、母親とお姉さんが相談にきた。もともと統合失調症であったが、マンションの4階から飛び降り脊髄損傷になったとのこと。悩みはトイレがうまくいかずに絶食をしているという話だったが、レベル的には胸椎から腰椎1番レベルなので、訓練さえすれば自立もできることをお話した。

Bさん(男) 脊髄損傷でトイレの悩みだった。レベル的には腰椎なので力

ナリハに入り、自立することを勧めた。

Cさん（男） 相談に来たのは叔母さんとその娘さんで、現在カナリハに入院中だが、頸髄4番5番の障害で、まだ14歳で今後どうやって生きて行ったらよいか皆目見当がつかないということだった。

支部に同じレベルの人がいるので、その人のことを話してもらい、今後のリハビリ後の学校への復帰や生活に、何が必要でどうしたらいいのかを伝えてもらった。

（5）実施に当たっての所感

ピアサポート事業は、今回で5年目の実施となったが、今後、支部の定例活動として継続していくには、更に相談者を増やすことが必要と考えている。それには相談会の開催回数を増やすことと、開催のための広報活動をもっと活発に広範囲に行っていくことが必要である。支部活動にはこのような課題があるが、脊髄損傷者とその家族を対象とする相談会を神奈川県内に定着させ、普及を促進することが私たち支部のためであり、県内の脊髄損傷者やそのご家族のためであると考えている。

2、共同募金助成のセミナーの開催

脊髄損傷者の食生活セミナー

「あなたのその食生活 ダイジョウブ？」

講師 日本大学スポーツ科学部准教授

辰田 和佳子 氏

最初に、脊髄損傷のためだけの食生活というものはないと。それはすべてのことに言えることだけど、病気の予防やスポーツをして体づくりをするというときでも、バランスよく食事をとることが全ての基本であるということをお話いただきました。

ではバランスのいい食事とは何かというと、ミネラル、たんぱく質、ビタミン、炭水化物、脂質、この5つが身体に欠かすことのできない5大栄養素である。そのためには主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上とるべしと。

では主食とは主に炭水化物の供給源であるごはん、パン、麺（うどん・そば・パスタ）を主材料とする料理。主菜は主にたんぱく質の供給源である肉、魚、

卵、大豆及び大豆製品などを主材料とする料理。副菜は主にビタミン、ミネラル、食物繊維の供給源である野菜、イモ、豆類（大豆を除く）キノコ、海藻などを主材料とする料理。

これを基本に、毎日の食事を楽しく無理なく続けることが必要ですが、その中でも食塩の摂取量には気を付けること。一日の食塩摂取は男性8グラム、女性7グラム以下を目標とすること。そして、野菜と果物の摂取量を増やすこと。一日にとりたい野菜の量は350gとされます。野菜は食物繊維やビタミン・ミネラルが含まれています。特に緑の野菜は不足しがちなカルシウムの補給源になります。等々のお話しをしていただき、最後はグループに分かれて食事のとり方のお勉強をしました。

普段何気なくしている食事ですが、もっと大事にして食生活を楽しみ、それと共に丈夫な体づくりができれば、豊かな人生になるのではないかと思います。

食事は毎日のことだけに、大変有意義なセミナーとなりました。

3、平成28年度支部総会の開催

開催日 平成28年 6月19日（日）

場 所 フォーラム246 会議室

懇親会

支部定例総会 出 席 者 15名

委任状提出者 42名

合 計 57名

「資格審査」

平成28年度4月1日現在の支部会員数は102名であり、会則第10条2項による総会成立の定足数は52名以上となり、今総会は成立しました。

(総会議事)

議長の選任を諮り、西湘協会の安藤朱美さんを選任し、議事の審議へと進めました。赤城支部長、町田財政部長より平成27年度事業と平成27年度決算報告及び路川みどり会計監査の監査報告が行われました。

第1号議案 平成27年度事業報告

(1) 「あなたの力になれます」 脊髄損傷者の相談会実施の報告

(2) 共同募金助成セミナーの報告

(3) 平成27年度支部総会の開催報告

- (4) 定例役員会の開催 第229回から第234回までの6回
- (5) 支部会報「やわらぎ」の発行 第95号～号97号の3回発行
- (6) 共同募金活動への参加 横浜駅西口、相模原市役所前の2か所
- (7) 第14回全国総会大阪府大会出席 赤城・山崎・澤藤が出席しました。
- (8) 関東・甲信ブロック会議埼玉県大会出席は赤城と山崎の2名が参加。
妻屋氏は本部代表理事としての出席になりました。
- (9) 関東ブロックの背損のピアマネジャー現任研修会
長野県支部開催に妻屋と赤城の2名が出席
- (10) 障害者用自動車の無料点検
- (11) 協会活動報告 川崎、横浜、県央の各協会報告
- (12) その他の活動報告 県内の各関係機関への参加活動報告

第2号議案 平成27年度決算報告及び監査報告

- (1) 貸借対照表
- (2) 収支決算書
- (3) 平成27年度監査報告書
- (4) 付属 地区協会決算報告書

以上、平成27年度事業報告、平成27年度決算報告及び監査報告を一括審議の結果全会一致で承認されました。

また、第3号議案の平成28年度活動方針及び、川崎、横浜、厚木、相模原市の4か所の公共施設においてピアサポート相談会の開催などの事業計画および第4号議案の平成28年度予算案は支部提案通り全会一致で承認されました。

・懇親会の開催

支部の懇親会は、会員をはじめそのご家族や友人も参加して相互の親睦を深めることを目的に支部総会時に毎年開催しております。

今回も合わせて28名が参加してカラオケやビンゴゲーム、料理を楽しみながら歓談しました。

4、定例役員会の開催

神奈川県支部を運営して37年目を迎えた平成28年度も定例役員会は順調に2か月に1回の割合で計6回開催しました。

役員会には、支部役員が毎回出席して支部活動に関する報告や企画、催事の開催と調整などについて協議を行うなど、支部の運営はすべてこの役員会の合議を経て維持されています。

役員会	開催日	開催会場
第235回	平成28年 4月17日	相模原市「けやき体育館」
第236回	平成28年 6月19日	伊勢原市「フォーラム246」
第237回	平成28年 8月21日	相模原市「けやき体育館」
第238回	平成28年10月16日	相模原市「けやき会館」
第239回	平成28年12月11日	伊勢原市「フォーラム246」
第240回	平成29年 1月21日	神奈川リハビリセンター

5、支部会報「やわらぎ」の発行

平成28年度「やわらぎ」の発行は、第98号、第99号、第100号の3回発行になりました。

第98号は総会議案書。

第99号は神奈川県支部総会の報告、全国総会岡山県大会の報告、吹き矢大会に参加して、苺狩りと食事会の一日、ワイワイ味わいランチ会等。

第100号は脊髄損傷相談会のこれまでの取り組みと報告、交流会に参加して、いちご狩りの報告、川崎協会主催のセミナー「人工肛門の話」、忘年会に参加して、自動車無料点検実施の報告等

*やわらぎ第98号（総会議案書）……………平成28年6月 3日発行

*やわらぎ第99号……………平成28年9月 4日発行

*やわらぎ第100号……………平成29年1月23日発行

6、共同募金活動に参加

赤い羽根の共同募金は、民間社会福祉事業やボランティア・市民活動をはじめとする地域での支え合い活動を支援する資金となるとともに、募金活動を通して市民に助け合いの心を普及する大きな意義を持っていると言われています。支部では、毎年この活動に参加しています。

昨年度は、10月1日に横浜駅西口で赤城他1名が参加。相模原では10月11日に相模原市役所前で赤城が参加しました。

7、全国総会大阪府大会出席

全脊連の第15回全国総会は、6月9日から11日までの日程で、岡山県の岡山コンベンションセンターにおいて開催され、全国から社員が出席しました。

支部から、山崎昇、妻屋、赤城、澤藤が出席しましたが、全員本部役員になっています。

総会は、27年度事業報告、決算報告、監査報告、28年度事業計画および予算案についてなどの審議が行われ、すべて可決されました。その後大会スロークターの採択と次期全国総会を沖縄県で開催することを決め、全国総会は終了しました。

8、第39回関東・甲信ブロック会議 栃木県大会出席

関東地区の東京都、神奈川県、千葉県、群馬県、栃木県、埼玉県、長野県、茨城県、山梨県の各支部が一同に会して、障害者福祉制度やバリアフリー環境の問題点等について意見交換と情報交換と親睦を兼ねて、毎年持ち回りで開催しています。

栃木県大会は、11月6日、新宿の戸山サンライズで開催され、支部から赤城が出席しました。

9、脊損のピアマネジャー現任研修会に出席

開催日	平成28年11月5日(土)
会場	東京都新宿区戸山サンライズ
主催	全国脊髄損傷者連合会 関東ブロック会
主管	全国脊髄損傷者連合会長野県支部
支部出席者	赤城と付き添いの2名が参加

・プログラム

講師	光岡 芳宏
講演	「ピアサポートの有効性について」

そのあと演習問題3例を行いました。

日本損害保険協会助成事業として全脊連が全国規模で毎年開催している関東ブロックでの脊損のピアマネジャー現任研修会は、言うまでもなくピアサポート活動を行う上で必要な技術と資質の向上を目的としていますが、各支部での活動がもっと普及されることが大切であり、研修会の内容をさらに改善する必要があると思われます。

10、障害者用自動車の無料点検サービスの実施

10月22日神奈川県リハビリテーション病院、駐車場で実施
参加者40数台の点検を行う

手動装置の付いた障害者用自動車は、移動制約者である私たちの行動範囲を無限に広げてくれます。しかし、装置の点検をはじめオイル交換やタイヤ周りなど自動車自体の点検は、安全運転をするうえで不可欠となります。支部では神奈川県の障害のある人の移動を支援する目的で、JAF神奈川支部と（株）ミクニライフ&オートの協力による無料で行う点検サービスを毎年1回神奈川県リハビリテーション病院の駐車場をお借りして実施しています。

11、各協会報告

28年度は、川崎協会が催事を開催し、会員の皆様にご案内し参加者を募りました。

(1) 川崎協会

「脊髄損傷者の人工肛門による排泄管理」

開催日 平成28年11月20日(日)

会場 川崎市国際交流センター

講師 鈴木 英之氏・瀬出井 弘美氏

参加者 24名

懇親会 21名

参加者はそれほど多くはありませんでしたが、当日はお天気にも恵まれ日ごろの運動不足を解消できた人が多かったようです。何よりも楽しみながら体を動かせたので、年に1度はこういう企画があってもいいのではないかと思います。そして皆さんも大いに楽しまれたようです。

12、その他の活動

1、赤城支部長が県社協の2種・3種会議に出席しました。

同じくかながわ福祉サービス適正委員会の委員で会議に出席。

2、路川体育部長は、神奈川県社会参加促進センターの委員として毎月の会議に出席。

3、相馬美枝さんが神奈川県の政策委員会の委員で会議に出席。